

2019年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	農村地域づくり小委員会	主 査 名：上村真仁 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：山崎寿一
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	農山漁村地域における地域づくりの実践のなかで、如何なる主体が存在し、計画の実現に寄与したかについて、全国の先進的・モデル的な事例を選びその役割と地域づくりの仕組みを明らかにする。地域づくりの将来に寄与する主体形成論の導出をめざす。 初年度：大会 PD の企画運営、石垣島公開委員会 2 年度：秋季学術研究会（尾鷲） 3 年度：合同事例調査 4 年度：研究懇談会	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有：有	
	主査：上村真仁（筑紫女学園大学） 幹事：鈴木孝男（事業創造大学院大学）、川崎興太（福島大学）、齋藤雪彦（千葉大学） 委員：山崎寿一（神戸大学）、斎尾直子（東京工業大学）、大庭知子（九州産業大学）、下田元毅（大阪大学）、野田 満（首都大学東京）、不破正仁（東北工業大学）、三橋伸夫（宇都宮大学）、吉田 肇（宇都宮共和大学）、篠部裕（呉工業高等専門学校）、熊野稔（宮崎大学）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2019年度予算	125,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 7/27,9/4,9/26
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 2019年度農村計画委員会秋季学術研究会「集まりカタ・関わりカタのデザイン ―農山漁村における集落形態の変容へのまなざし」(ルーラルデザイン小委員会と共同) 参加者数 40名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 共同研究のテーマ設定及び外部資金獲得のための申請書作成を実施した。
委員会活動の問題点・課題	1. 研究資金の獲得が課題。